

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡーF	
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡーF	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ずる人を魅了することへの表現力を身につける。		
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。		
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、サロンワークに必要な施術やお客様対応について教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、接客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ずる人を魅了することへの表現力を身につける
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅢーF	
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅢーF	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する。 ②「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける。		
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。		
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、サロンワークに必要な施術やお客様対応について教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期振り返り	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	
11	サロンワーク技術	
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	80
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することが出来る スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことが出来る				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40%(ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅱ・Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式とオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する				
担当教員	富田 萌、他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、フリーランスのネイリストとして2年勤務をした実務経験を基に、施設実習中の学生および企業様の支援を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2	施設実習	施設実習
3	施設実習	施設実習
4	施設実習	施設実習
5	施設実習	施設実習
6	施設実習	施設実習
7	施設実習	施設実習
8	施設実習	施設実習
9	施設実習	施設実習
10	施設実習	施設実習
11	施設実習	施設実習
12	施設実習	施設実習
13	施設実習	施設実習
14	施設実習	施設実習
15	施設実習	施設実習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト:30% 提出物・課題:40% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	富田 萌、他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、フリーランスのネイリストとして2年勤務をした実務経験を基に、社会人としてのマナーを教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	社会人のマナー①	身だしなみ コミュニケーションの基本
2	社会人のマナー②	電話対応
3	社会人のマナー③	メールの基本1
4	社会人のマナー④	メールの基本2
5	社会人のマナー⑤	訪問のマナー
6	社会人のマナー⑥	敬語の基本
7	社会人のマナー⑦	ビジネス文書の基本1
8	社会人のマナー⑧	ビジネス文書の基本2
9	社会人のマナー⑨	来客対応
10	接客のスキルアップ①	接客のマナーとコツ
11	接客のスキルアップ②	トーク力を身につける、人に興味を持つ
12	接客のスキルアップ③	カウンセリング～要望をききだす～
13	接客のスキルアップ④	提案力、紹介説明の語彙力アップ
14	前期テスト	テスト
15	まとめ	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅳ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅳ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	就職ガイドBOOK		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	就職対策を通して、業界の動向を知るとともに、社会人としての一般常識などを身に付ける				
到達目標	就職活動に向けて準備・行動ができている状態				
評価基準	テスト:30% 提出物・課題:40% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	富田 萌、他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、フリーランスのネイリストとして2年勤務をした実務経験を基に、就職活動に必要なスキルを教授する				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	接客のスキルアップ①	接客のマナーとコツ
2	接客のスキルアップ②	トーク力を身につける、人に興味を持つ
3	接客のスキルアップ③	カウンセリング～要望をききだす～
4	接客のスキルアップ④	提案力、紹介説明の語彙力アップ
5	社会で活躍するために①	必要な力とは
6	社会で活躍するために②	自己分析
7	社会で活躍するために③	長所と短所を理解しておく
8	社会で活躍するために④	第一印象について
9	社会で活躍するために⑤	継続力をつけよう
10	社会に出てからのギャップ①	考えられるギャップとは？
11	社会に出てからのギャップ②	乗り越えるには①
12	社会に出てからのギャップ③	乗り越えるには②
13	社会に出てからのギャップ④	乗り越えるには③
14	後期テスト	テスト
15	まとめ	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付け I	
必修選択	選択	(学則表記)	着付け I	
開講				
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数 1
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。		
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。		
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会		
関連科目	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴岡 幸子、他1名	実務経験	○
実務内容	着付け師として勤務をしている実務経験を基に、着付けに必要な知識、技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考査票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
8	小紋の着せ方7	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け3級検定(小紋の着付と蝶結び20分)を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学1	着物の名称と用語(プリント①②)について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方(自装)と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯1	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯2	お太鼓結びでの普段着(小紋)着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付(仕上げ)と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ	
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ	
開講				
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数 1
使用教材	教本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。		
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。		
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会		
関連科目	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	鶴岡 幸子、他1名	実務経験	○
実務内容	着付け師として勤務をしている実務経験を基に、着付けに必要な知識、技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標について説明する、考査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
3	振袖の着せ方3	ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
5	振袖の着せ方5	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖の着付を仕上げる(検定対策)
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付け2級検定試験(振袖にふくら雀30分)を実施する
10	座学2	着物のTP0(プリント③④)について
11	小紋の着方1	小紋の着方(自装)を学び実践する
12	小紋の着方2	名古屋帯のお太鼓結び(自装の仕上げ)、着物の立居振舞を学び実践する
13	留袖の着せ方1	留袖について、留袖の着せ方について学び実践する たたみ方について
14	留袖の着せ方2	二重太鼓の結び方について学び実践する 留袖の仕上げ
15	総合学習	女袴の着せ方と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠⅢ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本間 裕美	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにてヘアメイクとして5年、ホテルにてブライダルビューティ業務を約20年従事した実務経験を基に、シーンに合わせたヘアアレンジ技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠⅡ、ブライダルメイクⅠⅡ、アーティストメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	本間 裕美	実務経験	○		
実務内容	ヘアサロンにてヘアメイクとして5年、ホテルにてブライダルビューティ業務を約20年従事した実務経験を基に、シーンに合わせたヘアアレンジ技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
2	新日本髪②	新日本髪(練習)
3	新日本髪③	新日本髪(練習)
4	新日本髪④	新日本髪(テスト・振り返り)
5	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
6	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
7	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
8	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
10	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト) 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客について習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みを解消できるようになる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	石井 真琴、他1名	実務経験	○		
実務内容	大手化粧品会社にてメイクアップアーティストとして13年勤務をした実務経験を基に、メイクのテクニックを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/対策①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	化粧品検定級対策① 間違いない美容知識をチェック	1年次復習
10	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
11	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
12	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
13	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
14	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト) 化粧品検定協会テキスト		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する。 スキンケア・スキンケア対処方接客について習得する。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。 スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みを解消できるようになる。				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	植木 美姫	実務経験	○		
実務内容	大手メーカーにて美容部員・メイクアップアーティストとして16年、教育指導者として5年勤務した実務経験を基に、スキンケアのテクニックを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール
2	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモンストレーションを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
3	製品特徴・アプローチ法	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選定基準等
4	化粧品と法律(医薬部外品等)、化粧品の定義、成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
5	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
6	接客について、おもてなしの心、クレーム、スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
7	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
8	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
9	世代に合わせたカウンセリングメイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
10	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
11	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
12	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
13	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
14	総復習	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出れるようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 菜美	実務経験	○		
実務内容	写真スタジオにて成人式、七五三、婚礼等のヘアメイクを担当、まつげエクステサロン兼スクールにて店長として従事。まつ毛エクステ&ヘアセットサロンを経営。これら13年の実務経験を基に、ブライダルシーンのメイク技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・カラーージュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り
8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
12	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
13	和装④	白無垢化粧
14	和装⑤	白無垢化粧
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ブライダル雑誌		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。現場を意識した技術を出れるようになる。				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	齋藤 菜美	実務経験	○		
実務内容	写真スタジオにて成人式、七五三、婚礼等のヘアメイクを担当、まつげエクステサロン兼スクールにて店長として従事。まつ毛エクステ&ヘアセットサロンを運営。これら13年の実務経験を基に、ブライダルシーンのメイク技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
2	お色直しの基本知識	和装 → 洋装 → 一連の流れの実習 (導入、実践)
3	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
4	着物ヘアメイク①	着物スタイル
5	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
6	成人式ヘアメイク①	理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック
7	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
8	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
9	テスト	テスト、振り返り
10	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
11	卒業制作②	卒業制作(実践)
12	卒業制作③	卒業制作(実践)
13	卒業制作④	卒業制作
14	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他 特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山咲 サトル	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイク・映像系ヘアメイク業務の企業にて4年、フリーランスにてメイクアップアーティストとして8年、その後、ヘアメイク事務所を設立し、メイクアップアーティストとして10年以上従事している実務経験を基に、特殊メイクの基本的技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト
8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践する テスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他 特殊用品等		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする。				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める。 メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡⅢ、サロンワークⅠ-E、サロンワークⅡ-E				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	山咲 サトル	実務経験	○		
実務内容	ブライダルヘアメイク・映像系ヘアメイク業務の企業にて4年、フリーランスにてメイクアップアーティストとして8年、その後、ヘアメイク事務所を設立し、メイクアップアーティストとして10年以上従事している実務経験を基に、特殊メイクの基本的技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
2	アニマルメイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
3	アニマルメイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
4	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
5	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
6	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
7	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
8	日本の伝統メイク④	デッサンシートの作成 デッサンシートの基づいたメイクの実践
9	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
10	卒業制作②	卒業制作(実践)
11	卒業制作③	卒業制作(実践)
12	卒業制作④	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイク I		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイク I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	フォト&ファッション I II、特殊メイク I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大友 菜里子	実務経験	○		
実務内容	雑誌・テレビ・カタログ・広告・ブライダル等のヘアメイクとして8年活動した実務経験を基に、ショー・撮影等で使用されるメイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)
8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践) テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト) テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践) テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践) テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする。				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける。 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	フォト&ファッションⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大友 菜里子	実務経験	○		
実務内容	雑誌・テレビ・カタログ・広告・ブライダル等のヘアメイクとして8年活動した実務経験を基に、ショー・撮影等で使用されるメイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
2	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
3	年代別のメイク②	年代別 50
4	年代別のメイク③	年代別 60
5	年代別のメイク④	年代別 70、80
6	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000
7	年代別のメイク⑥	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
8	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
9	卒業制作②	卒業制作(実践)
10	卒業制作③	卒業制作(実践)
11	卒業制作④	卒業制作(実践)
12	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
13	卒業制作⑥	卒業制作(実践)
14	卒業制作⑦	卒業制作(実践、振り返り)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッション I		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッション I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE/VOGUE ET MODE等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポーズ・撮影場所によってはの注意点を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。				
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイク I II、特殊メイク I II				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大友 菜里子	実務経験	○		
実務内容	雑誌・テレビ・カタログ・広告・ブライダル等のヘアメイクとして8年活動した実務経験を基に、ショー・撮影等で使用されるメイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポーズについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポーズやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポーズやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポーズやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作り合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッションⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	【フォト】カメラ機材 【ファッション】スマホアプリ(VOGUE/VOGUE/VOGUE等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等) 共通→筆記用具・ノート…ファイル		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポーズ・撮影場所によってはの注意点を理解し、実践力を身につける。 【ファッション】ファッションとメイクについての関連性・傾向・知識を知り知識を深める。				
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する。 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイクⅠⅡ、特殊メイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	大友 菜里子	実務経験	○		
実務内容	雑誌・テレビ・カタログ・広告・ブライダル等のヘアメイクとして8年活動した実務経験を基に、写真のレイアウトやファッション・メイクを教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がりを
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて(シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	テスト	テスト
13	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
14	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画(コンセプトシートの作成)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト(サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
授業のねらい	①マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。 ②「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身につけるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身につける。 ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西田 知子	実務経験	○		
実務内容	大手企業にてエステティシャンとして勤務。客船にて、ビューティーセラピストとして世界中のお客様を施術をした実務経験を基に、サロンの運営方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・テッサンシート作成
2	(例)サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等)、広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・テッサンシート完成
3	(例)サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
4	(例)サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-D		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-D		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 理論編Ⅲ・フェイシャル・ボディ化粧品 AEAテキスト(サロンマネジメント)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	
授業のねらい	マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける。				
評価基準	実技試験60%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	西田 知子	実務経験	○		
実務内容	大手企業にてエステティシャンとして勤務。客船にて、ビューティーセラピストとして世界中のお客様を施術をした実務経験を基に、サロンの運営方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	オリエンテーション・前期の復習・サロンワーク準備
2	(例)サロンワーク	サロン実習 適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ－E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ－E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科		60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける。 コミュニケーション力を身に付ける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	植木 美姫	実務経験	○		
実務内容	大手メーカーにて美容部員・メイクアップアーティストとして16年、教育指導者として5年勤務した実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、接客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡ-E		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡ-E		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	2	60
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う。				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける。 コミュニケーション力を身に付ける。				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ビューティークウンセラーメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	植木 美姫	実務経験	○		
実務内容	大手メーカーにて美容部員・メイクアップアーティストとして16年、教育指導者として5年勤務した実務経験を基に、サロン運営・施術をシミュレーションを行いながら教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフライヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に与える知識を身につける。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準(前期)				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロボディⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小池 千絵	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、カウンセリング業務に関する授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(ボディ)	コンサルテーションシートの記入方法について(ボディ)
3	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル)	コンサルテーションシートの記入方法について(フェイシャル)
4	体のバランスと肥満	姿勢の判断や肺葉型とその特徴 内臓脂肪型と皮下脂肪型
5	女性ホルモンとストレスと睡眠 セルライトと水分滞留	内分泌系の関わりとストレスと睡眠 セルライトの段階 水分滞留の判定 成績評価①
6	ホームケアアドバイス ボディ	運動学・栄養学・食事指導
7	ホームケアアドバイス フェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。 お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける。				
到達目標	AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準(後期)				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロボディⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小池 千絵	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、カウンセリング業務に関する授業を展開する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	AJESTHE上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
2	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
3	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
4	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
5	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
6	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
7	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
8	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
9	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
10	AJESTHE上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
11	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
12		AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験範囲 補填
13	AJESTHE上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	
14		
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメントⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメントⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小池 千絵	実務経験		○	
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、ボディ・フェイシャルに使用する機器の使用方法を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロントリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロセラピー タラソセラピー	理論/タラソセラピーとは歴史・効果・注意・禁忌事項・応用 タラソパック デモンストレーション・実技演習 ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
3		
4	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは(歴史・効果)/リンパ液・リンパ節について 理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
5		
6	総合まとめ	成績評価① 筆記テスト(タラソセラピー、リンパドレナージュ)
7	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】試験の流れの説明・実技試験の流れで練習
8		
9		
10	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入	オリジナル・スウェディッシュマッサージ導入
11	スウェディッシュマッサージ練習	オリジナル・スウェディッシュマッサージ練習
12		
13		
14	実技テスト	成績評価②実技テスト(スウェディッシュマッサージ)
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロトリートメントⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	サロトリートメントⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー クリエータ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ。 ・東洋医学・フットケア・リンパドレナージュ・アーユルヴェーダー ・タラソセラピー・ストーンセラピー		
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる。		
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	小池 千絵	実務経験	○
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、マッサージの実技を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
16	オリエンテーション ペディキュア	オリエンテーション ペディキュア デモンストレーション・練習
17		
18	ペディキュア	ペディキュア練習
19		
20	東洋医学カッピング リフレクソロジー ポドロジー	理論/東洋医学(西洋医学との違い・経絡・経穴) 基本手技/カッピング
21		理論/リフレクソロジー・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式
22	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー 基本手技/ストーンセラピー
23		
24	代替療法 アーユルヴェーダ	インド伝統医学の考え方と療法(理論) アーユルヴェーダーマッサージ(実技)
25		
26		
27	AJESTE上級 エステティシャン試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習
28		
29	トリートメント総合	トリートメント総合 成績評価④筆記テスト(リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダー)
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエイヌ化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	橋本 明美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにてエステティシャンとして11年勤務をした実務経験を基に、エステティックに関する応用知識・技術について教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業内容の説明、履修目標について解説 ボディ化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入(目的、効果、成分、使用法等) 1年次の復習(ボディチェック+マッサージ)
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について
3		
4	ボディ電気機器 交流電流	低周波 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※運動教科:総論→電気学
5		
6	ボディ電気機器 サクシオン	サクシオン 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※運動教科:総論→電気学
7		
8		
9	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 成績評価① 模擬試験
10		
11	ボディ電気機器 G5	G5 口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※運動教科:総論→電気学
12		
13		ボディ機器 総合復習
14	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得をする。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	橋本 明美	実務経験	○		
実務内容	エステティックサロンにてエステティシャンとして11年勤務をした実務経験を基に、脱毛やカウンセリングについて教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 脱毛理論	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果/成分/注意事項・禁忌事項 デモンストレーション
2		
3	脱毛 Wax (Warm)	ワックス実技演習(腕・足) 成績評価① 脱毛試験
4		
5	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説
6		
7	ボディテクニック総合	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛
8	クライアント実習	※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
9		
10		
11	AJESTE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】試験の流れの説明・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価② 模擬試験
12		
13		
14	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅡ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅡ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエーション化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得する。 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	西田 知子	実務経験	○		
実務内容	大手企業にてエステティシャンとして勤務。客船にて、ビューティーセラピストとして、世界中のお客様を施術をした実務経験を基に、AEA上級認定エステティシャンの試験合格に向けて教授をする。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	自己紹介・前期授業の説明、履修目標について解説 1年次振り返り 接客の基礎実践 ティーブルクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイドス マスク(肌別・形状別)	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 (目的、効果、成分、使用法等)
3	AEA上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明・実技試験の流れで練習
4		
5		
6	AEA模擬試験	成績評価①
7	フェイシャル電気機器 直流電流	イオントフォーレーゼ・ディスインクラスステーション 実技理論・デモンストレーション含む ※運動教科 (総論→電気学 ポディーガルバニック)
8		
9	フェイシャル電気機器 サクソン	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※運動教科 (総論→解剖生理学 ポディーサクソン)
10		
11	フェイシャル電気機器 高周波	高周波(直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション含む
12		
13	フェイシャル総合授業	成績評価②
14	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャルⅢ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	プロフェイシャルⅢ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ 理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合(資格試験対応)クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	・原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 ・6コマを3コマずつに分けてカリキュラムを週2回実施				
担当教員	西田 知子	実務経験	○		
実務内容	大手企業にてエステティシャンとして勤務。客船にて、ビューティーセラピストとして、世界中のお客様を施術をした実務経験を基に、AEA上級認定エステティシャンの試験合格に向けて教授をする。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択 皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】カウンセリングシート作成 選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2		【3コマ】口答試験対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ スウェディッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
5		
6	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】:試験の流れの説明・実技試験の流れで練習
7		
8		
9	模擬試験	成績評価③
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング(肌分析) ディープクレンジング・電気トリートメント マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル アフターカウンセリング
11		
12		
13		
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論 I -B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論 I -B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編 I - III / AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ。				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小池 千絵	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、身体の細胞から考えたスキンケアの対応を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患 ・アトピー性皮膚炎・その他の主な皮膚疾患 成績評価①
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	
7	人体のあらし細胞・組織・器官	・人体のあらし・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器(感覚器のあらし・各感覚器の構造と働き) 消化器系(消化器系のあらし・各消化器系の構造と働き)
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法・化粧品の品質と品質特性・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14	筆記試験	模擬試験 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論Ⅱ-B		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティック総論Ⅱ-B		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ/AEAテキスト(各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合(資格試験対応) ・皮膚学・生理解剖学・栄養学 ・化粧品学・概論・衛生・自然科学・電気学を学ぶ				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・サロントリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小池 千絵	実務経験	○		
実務内容	大手エステティックサロンにエステティシャンとして2年勤務、美容室にてエステ部門を8年担当した実務経験を基に、AEA上級認定エステティシャンの試験合格に向けて教授をする。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
16	前期の振り返り	前期の振り返り
17	脱毛学 ※プロボディⅡにて実技導入	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
18		・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
19	認定上級E筆記対策 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
20		
21		
22		
23		
24	筆記試験	成績評価③ AJESTHE上級 模試
25	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試験 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカulptureやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイリスト検定1級・ジェルネイル検定上級まで取得。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカulptureⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ 1年次のジェルネイルの復習
2	JNEC2級検定の振り返り ジェル中級対策①	JNEC2級の振り返り ジェル中級に向けて実技練習
3	ジェル中級対策②	ジェル中級に向けて実技練習
4	ジェル中級対策③	ジェル中級に向けて実技練習
5	ジェル中級対策④	ジェル中級に向けて実技練習
6	ジェル中級対策⑤	ジェル中級に向けて実技練習
7	JNEC1級対策① または ジェル中級対策⑥	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
8	JNEC1級対策②	JNEC1級検定のセッティング及び流れを覚える
9	JNEC1級筆記模擬試験・対策	1級試験 筆記試験対策
10	JNEC1級対策③	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策④	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技対策	筆記テスト 実技対策
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイリスト検定1級・ジェルネイル検定上級まで取得。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ/Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ/Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ネイリスト検定の資格を取得するための知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
2	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	ジェル上級対策①	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4	ジェル上級対策②	ジェル上級に向けて実技練習
5	ジェル上級対策③	ジェル上級に向けて実技練習
6	ジェル上級対策④	ジェル上級に向けて実技練習
7	ジェル上級対策⑤	ジェル上級に向けて実技練習
8	ジェル上級対策⑥	ジェル上級に向けて実技練習
9	ジェル上級対策⑦	ジェル上級に向けて実技練習
10	ジェル上級対策⑧	ジェル上級に向けて実技練習
11	ジェル上級対策⑨	ジェル上級に向けて実技練習
12	実技練習	振り返りの実施
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト 実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュア I		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュア I		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	4
時間数	60				
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する。				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイリスト検定1級・ジェルネイル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	富田 萌、他1名	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、フリーランスのネイリストとして2年勤務をした実務経験を基に、JNEC1級合格のための技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて実技練習
2	JNEC1級対策①	1級検定のセッティング及び流れを覚える
3	JNEC1級対策②	1級検定のセッティング及び流れを覚える
4	JNEC1級対策③	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
5	JNEC1級対策④	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする
6	JNEC1級対策⑤	JNEC1級検定に向けての実技練習
7	JNEC1級対策⑥	JNEC1級検定に向けての実技練習
8	JNEC1級対策⑦ 筆記テスト	JNEC1級検定に向けての実技練習 筆記テスト
9	JNEC1級対策⑧	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
10	JNEC1級対策⑨	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
11	JNEC1級対策⑩	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
12	JNEC1級対策⑪	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	4
時間数	60				
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術を習得する。				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイリスト検定1級・ジェルネイル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、スカルプチュアの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	JNEC1級検定内容確認 (筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	JNEC1級対策①	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
3	JNEC1級対策②	JNEC1級検定に向けての実技練習 タイムトライアル
4	スカルプチュア①	クリアスカルプチュア 実技10本
5	スカルプチュア②	グラデーションスカルプチュア 実技10本
6	スカルプチュア③	グラデーションスカルプチュア 実技10本
7	スカルプチュア④	フレンチスカルプチュア デモンストレーション・実技
8	スカルプチュア⑤	フレンチスカルプチュア 実技
9	スカルプチュア⑥	フレンチスカルプチュア 実技 バーチャルフレンチスカルプチュア デモンストレーション
10	スカルプチュア⑦	スピードスカルプチュア 相モデルで10本 ナチュラル使用
11	スカルプチュア⑧	スピードスカルプチュア 相モデルで10本 ナチュラル使用
12	スカルプチュア⑨	ジェルを載せるときのサロンでの長さだしの練習
13	筆記試験 実技試験	筆記試験 実技試験
14	実技試験	実技試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ	
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。		
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェルネイル検定上級まで取得。		
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿部 彰乃	実務経験	○
実務内容	大手ネイルサロンにてネイリストとして従事し店長を経てその後、独立。ネイリスト歴14年の実務経験を基に、ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 ジェルデザイン実技①	教材説明・グラデーション・フレンチのデザインを学ぶ
2	ジェルデザイン実技②	シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデーション・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
3	スカルプ(クリア)デモンストレーション・実技	ジェルスカルプ(クリア)デモンストレーション・実技
4	マシーンオフ・プレパレーション	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ実技
6	中級検定実技①	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技②	中級検定内容を学び技術をマスターする
8	中級検定実技③	中級検定内容を学び技術をマスターする
9	ジェル上級説明、チップオーバーレイデモンストレーション実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモンストレーション実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
10	ジェルチップオーバーレイ実技	上級検定へ向けてジェルチップオーバーレイデモンストレーション実技(ナチュラル・フレンチ)を学ぶ
11	ジェルアート実技①	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
12	ジェルアート実技②	上級検定のフラワーのジェルアートの技術をマスターする
13	実技テスト	実技テスト
14	筆記テスト 実技練習	筆記テスト・実技練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅢ		
開講					
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	2
時間数	60				
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式			出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、ジェルネイル検定上級まで取得。				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 彰乃	実務経験	○		
実務内容	大手ネイルサロンにてネイリストとして従事し店長を経てその後、独立。ネイリスト歴14年の実務経験を基に、ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェルスカルブチュア実技	クリア・フレンチのジェルスカルブチュア実技
2	ジェルスカルブチュア・チップオーバーレイ実技	クリア・フレンチのジェルスカルブチュアとジェルチップオーバーレイ実技
3	ジェルスカルブチュア実技(相モデル)	ジェルスカルブチュア実技(相モデル)
4	上級検定実技①	ジェルネイル検定上級実技
5	上級検定実技②	ジェルネイル検定上級実技
6	上級検定実技③	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
7	上級検定実技④	ジェルネイル検定上級実技タイムトライアル
8	デザインジェル・実技①	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
9	デザインジェル・実技②	流行のデザインなどの研究も含めて様々なデザインのジェルネイルの実技
10	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン①	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
11	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン②	様々なデザインのジェルネイルの実技、ジェルフィルイン実技
12	ジェル実技(10本)相モデル①	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
13	ジェル実技(10本)相モデル② 筆記テスト	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどのテーマを決めて施術を行う
14	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ	
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。		
到達目標	コンテスト入賞		
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ネイルコンテスト入賞に必要なジェルネイルの技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー①	ジュニア・スチューデントケアの練習
3	ケア・カラー②	ジュニア・スチューデントケアの練習
4	ケア・カラー③	ジュニア・スチューデントケアの練習
5	ケア・カラー④ 実技テスト	ジュニア・スチューデントケア 実技テスト
6	アート①	チップ作成によるアート
7	アート②	チップ作成によるアート
8	アート④	チップ作成によるアート
9	アート④ 作品提出	チップ作成によるアート 作品提出
10	スカルプチュア①	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
11	スカルプチュア②	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
12	スカルプチュア③	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア④	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	ジュニア部門のスカルプ ナチュラルスカルプ 実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅢ	
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅢ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる		
到達目標	コンテスト入賞		
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ネイルコンテスト入賞に必要なジェルネイルの技術を教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア・カラー①	スチューデントケアの練習と共にブロックとしてフレンチカラーの実技
2	ケア・カラー②	スチューデントケアの練習と共にブロックとしてフレンチカラーの実技
3	ケア・カラー③ 実技テスト	スチューデントケアの練習と共にブロックとしてフレンチカラーの実技テスト
4	ジェル①	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
5	ジェル②	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
6	ジェル③	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の練習として様々なデザインを作成
7	ジェル④ 実技テスト	ジェル部門実技テスト、または作品提出
8	アート①	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
9	アート②	チップ作成またはデザインイクステンションなどコンテスト内容に順じたアート実技
10	アート③ 作品提出	アート部門実技作品提出
11	スカルプチュア①	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
12	スカルプチュア②	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
13	スカルプチュア③	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
14	スカルプチュア④ 実技テスト	プロ部門のフレンチスカルプチュアの想定練習
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る。				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 彰乃	実務経験	○		
実務内容	大手ネイルサロンにてネイリストとして従事し店長を経てその後、独立。ネイリスト歴14年の実務経験を基に、手や足のケア方法・ジェルネイルの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振り返りと2級検定振り返り
2	ハンドケア トリートメント理論	マシンを使用してのケア方法とトリートメントについて学ぶ
3	フットケア①	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
4	フットケア②	メタルプッシャーを使用した、トリートメント、カラー
5	フットケア③	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
6	フットケア④	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
7	ハンドケア⑤	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
8	ハンドケア⑥	ネイルマシンを使用した、トリートメント、カラー
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 色々なカラーリングの練習
10	ハンドケア(マシン) カラー①	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
11	ハンドケア(マシン) カラー②	ネイルマシンを使用したケアと色々なカラーリングの練習。アート練習。
12	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
13	実技テスト	実技テスト ハンドケア・マシン
14	筆記テスト	筆記テスト ケア・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケアⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケアⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことができる				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	阿部 彰乃	実務経験	○		
実務内容	大手ネイルサロンにてネイリストとして従事し店長を経てその後、独立。ネイリスト歴14年の実務経験を基に、手や足のケア方法・ジェルネイルの技術を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ケア、カラー①	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
2	ケア、カラー②	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
3	ケア、カラー③	マシンでのケアと色々なカラーを練習 様々なカットスタイルにも対応できるように学ぶ
4	フットケア・トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(メタルブッシャー)を学ぶ
5	フットケア・トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア(メタルブッシャー)を学ぶ
6	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル①	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
7	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル②	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
8	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル③	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
9	フットケア(マシン) トリートメント・ジェル④	ジェルを取り入れたフットケア(ネイルマシン)を学ぶ
10	フットケア(マシン) マシンオフ①	ネイルマシンを使用したフットジェルマシンオフ
11	フットケア(マシン) マシンオフ②	ネイルマシンを使用したフットジェルマシンオフ
12	実技試験①	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
13	実技試験②	実技試験 フットケア・トリートメント・ジェル
14	筆記テスト	筆記テスト ハンドケア(マシン)・トリートメント・カラー
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ	
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。		
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる。		
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボスアート基礎 ミクスチュアの取り方、ハートなど
3	エンボスアート①	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
4	エンボスアート②	エンボスの基本的な花やモチーフの実技
5	3Dアート基礎	3Dの基本的な花やモチーフの実技
6	3Dアート応用	3Dアート応用の花やモチーフの実技
7	3Dアート(検定用)	検定用3Dアートに実技
8	エアブラシ基礎	ライン・ドット等シート練習 組立・掃除等のメンテナンスを覚える
9	エアブラシ応用①	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
10	エアブラシ応用②	ライン・ドット・ステンシルなどを使用したシート練習
11	ミックスメディアアート①	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート②	フラット・エンボス・3Dの技法を取り入れたアート作品を作る 作品提出
13	検定用アート①	1級検定アートのタイムトライアル
14	検定用アート②	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅢ	
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅢ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	45
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。		
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる。		
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級		
関連科目	ネイル教科全般		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	阿佐美 文絵	実務経験	○
実務内容	ネイルサロンにてネイリストとして7年勤務、ネイルサロン・スクールの経営を10年従事している実務経験を基に、ポリッシュアートなどのプラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート教授する。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定用アート①	1級検定アートの実技
2	検定用アート③ タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル
3	検定用アート② タイムトライアル	1級検定アートのタイムトライアル 作品提出
4	デザインスカルプチュア① デモ:実技	デザインスカルプチュアを学び習得する
5	デザインスカルプチュア②	デザインスカルプチュアを学び習得する
6	トレンドアート①	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
7	トレンドアート②	トレンドのネイルアートの技術を学ぶ
8	作品制作①	テーマと技法(エアールフラットなど)を決めて作品を制作する
9	作品制作②	テーマと技法(エアールフラットなど)を決めて作品を制作する 作品提出
10	タイムトライアル	サロンワークに対応するアートのタイムトライアル
11	卒業制作①	2年間の総復習
12	卒業制作②	2年間の総復習
13	卒業制作③	2年間の総復習
14	卒業制作④	2年間の総復習 作品提出
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅠ-G		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅠ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー(教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト:60% 授業態度:10% 提出物:20% レポート:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、集客方法の工夫やフレイヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ BEAUTY SHOWを通じ、「美」を通ず人を魅了することへの表現力を身につける
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワークⅡーG		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワークⅡーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	1	30
使用教材	ケースで学ぶ理美容業の接客マナー(教員用のみ) 関連科目の使用教材一式		出版社	早稲田教育出版 他	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様に説明して施術できる。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けて実践することができる ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	テスト・小テスト:60% 授業態度:10% 提出物:20% レポート:10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	エステティックカウンセリングⅢ、アロマセラピー総論Ⅱ、フェイシャル&ボディⅡ ネイルケア&ネイルアートⅡ、パーソナルヘア&メイクⅡ、ヨガ・ピラティスⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク技術練習	<ul style="list-style-type: none"> 様々なシチュエーションや施術内容を設定し、サロンワークとしての技術・接客をシミュレーションする 施術時間・用具の管理・接客対応・言葉遣い・イレギュラーな対応方法などを学ぶ 施術内容だけでなく、接客方法の工夫やプレイヤー作成など運営に関わる様々な分野を学ぶ
2	サロンワーク技術練習	
3	サロンワーク技術練習	
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	
8	サロンワーク技術練習	
9	サロンワーク技術練習	
10	サロンワーク技術練習	
11	サロンワーク技術練習	
12	サロンワーク技術練習・テスト	
13	サロンワーク技術練習	
14	振り返り	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ-G		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ-Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年振り返り
2	ナチュラルビューティーに生きる	植物の力のひみつ・自分の心と体を知る・あなたのタイプをチェック
3	カラダの仕組みを知る 1	ストレスとは・ホメオスタシスとは・内分泌系の役割
4	カラダの仕組みを知る 2	ライフステージ別カラダの変化・免疫系
5	カラダの内側から整える Lesson1 カラダをつくる食事	カラダをつくる食事
6		バランスのいい食事とは・旬の食材はなぜカラダにいいのか
7		腸を整えよう
8		カラダをあたためよう・腸活と温活
9		食事とアンチエイジング
10		
11		
12		
13	カラダの内側から整える Lesson2 カラダを休める睡眠	睡眠の役割・睡眠のメカニズム
14		質のよい睡眠の条件 成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅢ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅢ-G		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	日本エステティック協会 アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	植物の力に関する知識を持ち、ライフスタイルの様々な場面に活用することでカラダの内側からも外側からも美しく健康になるための知識を学ぶ。				
到達目標	ナチュラルビューティースタylist検定合格レベル(任意)				
評価基準	筆記試験60%・小テスト20%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ナチュラルビューティースタylist検定(任意)				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・アロマセラピー総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	カラダの内側から整える Lesson3 カラダを巡らせる運動	カラダを動かすことのメリット・カラダの循環を知る
2		運動実践(朝のストレッチ・夜のストレッチ・筋肉トレーニング)
3	カラダの内側から整える Lesson4 ココロの疲れをリセット	ココロの疲れとは？ストレスと上手に付き合うには
4		ココロとカラダの状態が現れる肌(乾燥・紫外線・酸化糖化)
5		肌トラブル別お手入れ方法(ニキビ・しわたるみ・くすみ・クマ・毛穴)
6	カラダの外側から整える Lesson1 正しいスキンケアで美肌をつくる	
7		美しいカラダを保つためのボディケア
8		スキンケアのための植物・ナチュラルコスメを使ってみよう
9	総合まとめ	成績評価③
10	カラダの外側から整える Lesson2	美しく健康な髪・髪と頭皮のメカニズム・健康な髪をつくる生活習慣
11	ヘアケアで美しい髪	
12	毎日の心がけて ナチュラルビューティー	Lesson1 正しい呼吸法 理論・実践
13		Lesson2 五感に心地よいライフスタイル
14	総合まとめ	ナチュラルビューティースタylist検定 模試 成績評価④
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅡーG		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅡーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピー検定対策 アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマテラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エスティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年の振り返り	振り返り
2	検定対策 第1章～2章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(サイプレス・ジャーマンカモミール)
3	検定対策 第3章～4章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ジャスミン・パチュリ)
4	検定対策 第5章～6章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ブラックペッパー・ペチパー)
5	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(ベンゾイン・ミルラ)
6	検定対策 第7～8章 総まとめ	1年時の総復習 ・精油のプロフィール(メリッサ・ローズオットー)
7	総合まとめ	成績評価① アロマ検定プレテスト
8	精油紹介①	トリートメント用 フレンドオイル作り
9	精油紹介②	シアバタークリーム作り(バーム)
10		
11	精油紹介③	ハンガリアンウォーター・化粧水作り(もしくはクレイパック)
12		
13	精油紹介④	手作りせっけん・石けん素地
14		
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	アロマテラピーⅢーG		
必修選択	選択	(学則表記)	アロマテラピーⅢーG		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	アロマテラピー検定公式テキスト 1級 ナチュラルビューティースタylist検定 公式テキスト		出版社	公益社団法人 日本アロマ環境協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	アロマテラピー検定対策 アロマテラピーⅠで学んだ知識の総復習と生活への応用				
到達目標	アロマテラピーを家族や周囲の人々とともに楽しみ、健康維持の為に用いる知識を説明することができる。 アロマテラピー検定1級合格レベル				
評価基準	筆記試験60%/小テスト10%/授業態度、提出物など10%/アロマ検定1級合否20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	アロマテラピー検定1級				
関連科目	フェイシャル&ボディⅡ・サロンワーク・エスティックカウンセリングⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	精油紹介⑤	オリエンテーション 練香水作り
2		練香水作り
3	アロマ1級試験復習 模擬試験	成績評価②
4	ナチュラルビューティーに関わる植物	覚えておきたい植物の有効成分 植物(アサイー・ウコン・温州みかん)
5		植物(エルダーフラワー・甘草・ココ)
6		植物(クローブ・月桃・ごぼう)
7		植物(サフラン・しょうが・すぎな)
8		植物(セージ・タイム・チャ)
9		植物(朝鮮人参・月見草・ナツメグ)
10		植物(ペパーミント・ホーリーバジル・ゆず)
11		植物(よもぎ・レモンバーベナ・ローズヒップ)
12		総合復習
13		筆記試験
14	模擬試験	模擬試験 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クレーン化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用方法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	フェイシャル&ボディⅡ オリエンテーション	フェイシャルエステティック 化粧品使用方法と説明
2	フェイシャル技術理論(皮膚学) カウンセリング	トリートメントの目的・皮膚の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
3	ディーブクレンジング復習	粒子あり・なし・酵素 手順復習
4	ディーブクレンジング 吸引	スチーマーの使用方法・キッシング手順 理論含む
5	クレンジング～キッシング	クレンジング～キッシング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
6	ディーブクレンジング ブラシ	ブラシの使用方法 デモンストレーション・相モデル 理論含む
7	クレンジング～ブラシ	クレンジング～ブラシ～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
8	総合技術 吸引・ブラシ	成績評価①
9	ディーブクレンジング 電気	イオンクレンジングもしくはデイスインクラステーション 理論含む
10	クレンジング～電気	クレンジング～イオンクレンジング～マッサージ 拭き取り(コットン・HOT)
11	ディーブクレンジング総合 コンサルテーションシート	総合復習 カウンセリングを実施し合ったものを提供
12		成績評価② 全体を総合し、肌にあった内容を提供できること
13	フェイシャルマスク	デモンストレーション・手技・拭き取り
14	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック	クレンジング～マッサージ～ フェイシャルパック 通し
15	総合技術	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	フェイシャル&ボディⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	フェイシャル&ボディⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ・クリエース化粧品セット エッセンシャルオイルセット		出版社	日本エステティック協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャル&ボディⅠで学んだエステティック機器の使用法・注意事項・禁忌事項を学び、肌・体の状態に合ったトリートメントの理解を深める。				
到達目標	技術力確認試験 合格レベル				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン・認定ボディエステティシャン				
関連科目	カウンセリングⅢ・フェイシャル&ボディⅠ・アロマセラピー総論Ⅱ・生理理解剖学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディ技術理論(生理解剖学) カウンセリング	トリートメントの目的・人体の構造 カウンセリング・コンサルテーションシートの記入方法
2	マッサージ復習 コンサルテーションシート	下肢後面・腰背部・腹部 手順確認・拭き取り
3		復習
4	下肢前面	デモスト・手技・拭き取り
5		相モデル練習
6		成績評価①
7	上肢・デコルテ～頭部	上肢・デコルテ・頸部・頭部 デモスト・手技・拭き取り
8		通し練習
9	アロマセラピーのある暮らし精油のプロフィール	香りのイメージ 安全のための注意/イランイラン
10	アロマトリートメント(全身)	精油とは/精油のもととなる植物の芳香物質/精油製造方法 オレンジ・スイート、ジュンパーベリー
11		芳香浴法・沐浴法・吸入法/精油が心身に作用する経路 ゼラニウム、ティートリー
12		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
13		全身通し練習 アロマを相モデルの悩みに合わせてブレンドする
14		成績評価②
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅠ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅠ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNECネイリスト検定2級取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてJNECネイリスト検定2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	前期:授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期:アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
2	ネイルケア・パラフィン ・ハンドトリートメント	ハンドトリートメントと共にパラフィンパックを学ぶ
3	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
4	ネイルケア・カラー・アート	サロンで接客の出来るケア・カラー・アートを習得する
5	2級ケア・アート練習	2級検定合格へ向けてのケア・アートを習得する
6	チップラップ実技	チップラップ実技
7	チップラップ実技	チップラップ実技
8	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	2級実技タイムトライアル	タイム取りをして検定実技の練習を行う
10	ペディキュア・ フットトリートメント講義デモ	フットケアを学ぶ
11	ペディキュア	フットケアを学ぶ
12	ペディキュア	フットケアを学ぶ
13	実技試験	実技試験
14	実技試験 筆記テスト	実技試験 筆記試験
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア&ネイルアートⅡ-G		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎的なネイル技術から実践的な技術としてチップを使った付け爪を学び、JNECネイリスト検定2級取得を目指し、サロンで接客のできるアートなども含めて技術を習得する。				
到達目標	基礎技術に加えてJNECネイリスト検定2級取得レベルとサロンで通用する技術ができる。				
評価基準	前期:授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40% 後期:アート作品30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	検定対策&ジェル				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習をする
2	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
3	2級検定練習	2級検定へ向けての総仕上げ練習
4	教材の説明エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
5	エンボスアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
6	3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
7	エンボスアート 3Dアート	エンボス・3Dアートの基本的な花の作品や物体の作り方・作品の仕上げ方を学ぶ
8	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
9	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
10	ミックスメディアアート	これまで学んできたアート技術の総復習を行う
11	実技試験	実技試験
12	筆記試験	筆記試験
13	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
14	卒業制作	チップを使用してのアート作品を制作
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェル I		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェル I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNECネイリスト検定2級・JNAジェルネイル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。				
到達目標	JNAジェルネイル検定初級に合格し、サロンで通用する技術を身に付ける。				
評価基準	前期:ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期:宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ジェル教材の名称及び説明・ジェルシステム講義・カラーとオフのデモ	教材説明・ジェルシステム講義・UVライト(LED)で硬化するジェルシステムを学ぶ・クリアとカラーの塗布～オフまででデモンストレーション
2	初級検定説明・デモ	初級検定説明・デモ
3	クリアカラー実技	ジェルネイルの基本的な技術を学ぶ
4	ジェル初級検定実技①	初級検定内容を学び・技術を学ぶ
5	ジェル初級検定実技②	ジェル初級検定実技
6	ジェル初級検定実技③	ジェル初級検定実技
7	ジェル初級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
8	ジェル初級検定実技⑤	タイム取りをして検定実技の練習を行う
9	実技テスト①	実技テスト
10	実技テスト② 筆記テスト	実技テスト 筆記テスト
11	JNEC2級検定実技①	ファイリングやニッパーのハンドリングを改めて見直し、基礎的技術の強化を行う
12	JNEC2級検定実技②	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
13	JNEC2級検定実技③	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
14	JNEC2級検定実技④	2級検定の実技の練習を繰り返し行う
15	総合授業	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&ジェルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&ジェルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	JNECネイリスト検定2級・JNAジェルネイル検定初級取得し、デザインジェルをマスターし、サロンでお客様に説明しながら施術が出来る。				
到達目標	JNAジェルネイル検定初級に合格し、サロンで通用する技術を身に付ける。				
評価基準	前期:ジェル初級検定結果30%・宿題/授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30% 後期:宿題/授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級				
関連科目	ネイルケア&ネイルアートⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期復習	1年次・2年次前期に学んできた事を復習し、練習を繰り返し技術向上を目指す
2	JNEC2級検定実技①	タイム取りをして検定実技の練習を行う
3	JNEC2級検定実技②	タイム取りをして検定実技の練習を行う
4	筆記テスト JNEC2級検定実技③	筆記テスト タイム取りをして検定実技の練習を行う
5	JNEC2級検定実技④	タイム取りをして検定実技の練習を行う
6	ジェルネイル①	フレンチ・グラデーションデモ・実技
7	ジェルネイル②	フレンチ・グラデーション・実技
8	ジェルネイル③	フレンチ・グラデーション実技
9	ジェルネイル④	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ ジェルオフ デモ・実技
10	ジェルネイル⑤	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
11	ジェルネイル⑥	ジェルチップオーバーレイ ジェルスカ 実技
12	ジェルネイル⑦	ジェルアート
13	実技テスト	実技テスト
14	実技テスト	実技テスト
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)
8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パーソナルヘア&メイクⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルヘア&メイクⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする。				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する。 お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	トータルメイクⅠ、トータルメイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
2	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
3	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
4	和装スタイル④	和装シーン、テーマに合わせて和装(テスト)
5	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
6	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
7	パーティースタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
8	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
9	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
10	アレンジスタイル③	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
11	アレンジスタイル④	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
12	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
13	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
14	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	プロポーション、錯覚	プロポーション、錯覚(導入、実践)
3	色トーン	色の持つイメージ・トーンの持つイメージを理解し、各色が持つイメージワードを考え、組み合わせることで、メイクの幅が広がることを理解する。
4	カラーマップに沿ったメイク 質感①	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
5	カラーマップに沿ったメイク 質感②	カラーマップの見方を理解し、前回学んだ事を踏まえ相モデルでモデルに合ったメイクを実践。また、質感の特徴も理解する
6	パーソナルメイクアップ①	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
7	パーソナルメイクアップ②	相モデルで骨格・パーツ診断をしパーソナルメイク実践
8	スチールメイク①	作品作りに必要なテクニックを理解させ、スチールメイクに必要なベースづくりや色の出し方をマスターする。
9	スチールメイク②	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
10	スチールメイク③	SNSや雑誌等を活用してスチールメイクをする
11	フォトコンテスト対策①	テーマに合わせたデザイン画の作成、フルメイク練習
12	フォトコンテスト対策②	フルメイク(テスト、振り返り)
13	フォトコンテスト対策③	作品制作撮影
14	フォトコンテスト対策④	作品制作撮影
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	トータルメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	トータルメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストアドヴァンス(デジタルテキスト)		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたメイクテクニックを理解し、施術タイムも意識しながら実践を行う。				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス(任意受験)				
関連科目	パーソナルヘア&メイクⅡ、パーソナルヘア&メイクⅢ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イメージチェンジ①	イメージチェンジ(実践)
2	イメージチェンジ②	イメージチェンジ(実践)
3	イメージチェンジ③	イメージチェンジ(実践)
4	パーティーメイク①	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
5	パーティーメイク②	パーティースタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
6	成人式メイク①	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
7	成人式メイク②	成人式スタイルのフルメイク実践 デザイン画の作成
8	クイックチェンジメイク①	ワンポイントチェンジで人の印象を変える
9	クイックチェンジメイク②	前回の内容を活かし、どこをチェンジしてどう印象を変えるか プレゼンも含めメイクをする
10	クイックチェンジメイク③	テスト、振り返り
11	卒業制作①	卒業制作作用のデッサン画、メイク練習
12	卒業制作②	メイク練習
13	卒業制作③	卒業制作作用のデッサン画、メイク
14	卒業制作④	撮影、振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティス I		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス ヨガマット、フォームローラー		出版社	マイナビ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション、授業導入 ヨガとは、ピラティスとは	ヨガの基礎知識、ピラティスの知識、ヨガとピラティスの共通点/違いについて (実技なし)
2	ヨガとは何か	ヨガのルーツ/歴史、ヨガとエクササイズの違い (実技:基本姿勢の実践)
3	ヨガの目的と効果	ヨガの目的/肉体的な効果と精神的な効果 (実技:基本姿勢からのアーサナ)
4	ヨガの基本プロセス	ヨガの実践方法/3つのプロセス、ヨガの実践のポイント (実技:基本姿勢からのアーサナ)
5	ヨガの呼吸法	ヨガで呼吸が大切な理由、腹式呼吸と胸式呼吸の違いと効果 (実技:呼吸を意識してポーズの実践)
6	ヨガの種類、Q&A	ヨガのいろいろな種類、ヨガへの素朴な疑問と答え (実技:ヨガフロー)
7	ヨガの瞑想	瞑想とは、瞑想のメカニズム (実技:ヨガフロー)
8	ヨガの瞑想	瞑想の効果、自分と向き合う (実技:ヨガフロー)
9	ヨガの瞑想	シャバーサナの必要性 (実技:ヨガフロー、瞑想の実践)
10	チャクラについて	チャクラの場所と効果 (実技:チャクラを意識したヨガ)
11	女性の身体とヨガ	月の満ち欠けに合わせる暮らし (実技:月の満ち欠けに合わせたヨガ)
12	ヨガ筆記テスト①	実技:ヨガフロー
13	ヨガのプログラミング	ヨガのプログラムを自分で考える (実技:ヨガフロー)
14	太陽礼拝	太陽礼拝とは、効果について (実技:太陽礼拝)
15	パワーヨガ	パワーヨガの歴史と効果について (実技:パワーヨガ)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヨガ・ピラティスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヨガ・ピラティスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	これ1冊できちんとわかるヨガ、ピラティス ヨガマット、フォームローラー		出版社	マイナビ出版	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	なし				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ピラティスとは何か	ピラティスのルーツ／歴史、目指すところ (実技:基本姿勢について)
2	ピラティスの目的と効果、基本プロセス	ピラティスの効果、実践のポイント、呼吸法 (実技:基本姿勢からのピラティス)
3	ピラティスの種類、Q&A	ピラティスのいろいろな方法、ピラティスへの素朴な疑問と答え (実技:基本姿勢からのピラティス)
4	正しい姿勢とは	姿勢の見方、正しい姿勢と悪い姿勢 (実技:基本姿勢からのピラティス)
5	姿勢のチェック	自分の姿勢をチェック、それぞれの対処法 (実技:姿勢トラブル別改善ピラティス)
6	悪い姿勢の原因	不良姿勢の原因ともたらすトラブルについて、二足歩行が骨格に与えた影響 (実技:姿勢トラブル別改善ピラティス)
7	正しい姿勢を手に入れるには	姿勢を支える筋肉／抗重力筋と体幹のインナーマッスル (実技:インナーマッスルを意識したピラティス)
8	身体の不調	身体の不調はなぜ起こるのか (実技:身体の不調改善ピラティス)
9	筋膜について	筋膜とは何か、筋膜の特徴 (実技:フォームローラーの実践)
10	筋膜について	筋膜リリースの効果と実践方法 (実技:フォームローラーの実践)
11	ピラティス筆記テスト②	実技:フォームローラーの実践
12	背中メソッド	簡単エクササイズ方法の紹介 (実技:背中エクササイズ)
13	部分エクササイズ	トラブルの原因／お腹、ヒップアップ、背中編 (実技:集中エクササイズ／お腹、ヒップアップ、背中編)
14	部分エクササイズ	トラブルの原因／くびれ、美脚、バストアップ編 (実技:集中エクササイズ／くびれ、美脚、バストアップ編)
15	課題作成	エクササイズを調べる (実技:ヨガ&ピラティス)

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックス I		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックス I		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 導入	担当教員自己紹介・前期授業の方向付け、履修目標・評価基準について解説 各々が考える「デトックス」とは何かを考える
2	導入 デトックスとは	生活習慣のチェックし自身の生活習慣を振り返る 生活の中にありふれている沢山の毒について学ぶ
3	体の毒とアンチエイジングの基礎知識	生活の中に溢れている毒を学ぶ
4		避けられない毒、酸化について学ぶ
5	【デトックス基礎編】 避けられない毒とは 酸化 糖化 炎症	糖化について学ぶ
6	老化のサインは糖尿病になって 現れる	炎症について学ぶ
7		毒の悪循環と糖尿病について学ぶ
8	・グループワーク ・個人ワーク	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとにまとめ ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症について個人ごとにまとめ
9	成績評価①	・化学物質、重金属、酸化・糖化・炎症について各グループごとに発表 ・化学物質、重金属や酸化、糖化、炎症のレポートを共有、復習する
10	老化とアンチエイジング	老化とは何か アンチエイジングとは何かを学ぶ①
11		アンチエイジングとは何か学ぶ② アンチエイジングの取り入れ方を学ぶ
12	テスト 成績評価②	理解度の確認
13	デトックスの仕組みや方法	代謝について学ぶ 各種デトックスの方法を知る(食材、食事、水、アロマ、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど)
14		
15	総合授業	前期 総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	デトックスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	デトックスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	専門医が教えるデトックス入門		出版社	幻冬舎	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:70% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	ダイエット学、アロマセラピーⅢ、栄養学Ⅰ、Ⅱ、生理学Ⅰ、Ⅱ、皮膚学Ⅰ、Ⅱ、概論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	【デトックス実践編】 今日からできるデトックス 引き算するデトックスについて	身体のデトックスの仕組みを学ぶ
2		過剰毒について学ぶ
3		デトックス効果(全身)について学ぶ
4		酸化予防について学ぶ
5		糖化予防について学ぶ
6		炎症の予防について学ぶ①
7		
8		ファスティングについて学ぶ ※酵素ドリンク試飲
9		水素ケアや水素療法について学ぶ
10	まとめ	教科書の総まとめを行う
11	テスト 成績評価③	理解度の確認
12	デトックスの方法	デトックスに効果的な反射区やデトックス技術を知る
13		各種デトックスの方法を知る(食材、食事、水、スパイス、ハーブ、運動、生活リズムなど) ※ハーブティー試飲
14	成績評価④	・ペアに合った具体的なデトックス方法のアドバイスをデモで発表 ・自分に合った具体的なデトックス方法のアドバイスのレポート作成
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:40% 検定取得30% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ダイエット学 導入 ダイエットとは	ダイエット検定を取得している芸能人や有名人など紹介、検定を取ることに意義(P21~26)、自己分析 第2章 Q1~Q5について学ぶ
2	現代ダイエットの基礎知識	第3章 Q6~Q10
3	体脂肪の基礎知識	第4章 Q11~Q15
4	カロリーと栄養素とダイエット	第5章 Q16~Q20
5		第5章 Q21~Q25
6	模擬試験①	第2章~第5章 成績評価①
7	代謝とリバウンドの基礎知識	第6章 Q26~Q31
8	インスリンとGI値	第7章 Q32~Q34
9	運動とダイエット方法論	第8章 Q35~Q40
10	模擬テスト	成績評価②
11	模試解説	模擬試験の解説
12	検定前模擬試験	模擬試験と解説
13	第1章 ダイエットと栄養素	PFCバランス/ビタミンとミネラル/飽和脂肪酸と不飽和脂肪酸について
14		ダイエットを促進する栄養素と食材/飲酒によって体脂肪が増えるメカニズム
15	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割と注意点/サプリメントの効率的な使用方法

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダイエット学Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダイエット学Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ダイエット検定 1・2級テキスト		出版社	日本ダイエット健康協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分自身の身体で体感し五感を通してヨガ・ピラティスの基礎を学ぶ。 根本的な理論を学び、精神肉体両面から働きかけ自らの美と健康を維持促進する。				
到達目標	ヨガやピラティスの身体と精神に及ぼす好影響を説明できる。 ヨガやピラティスのポーズを実施する。				
評価基準	テスト・小テスト:40% 検定取得30% 授業態度:10% 提出物:20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	なし				
関連科目	デトックス・生理学・栄養学				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第3章 体脂肪と肥満と疾病リスク	メタボリックシンドロームの定義/ 特定検診・保健指導について 内蔵脂肪の悪玉構造/ 肥満の種類・定義と疾病リスク ～ 褐色脂肪細胞
2	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の定義～同化・異化のシステムコントロール
3	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
4	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
5		筋肉トレーニングと基礎代謝の増加～DITエネルギー消費量比較
6	模擬試験	成績評価③
7	模試解説	模擬試験の解説
8	第6章 運動と筋肉と代謝(補足)	運動実践
9	総合まとめ	1級・2級検定内容の振り返り
10	自分に合ったダイエット方法	今までの学びから卒業までの目標を立ててダイエットプランを作成
11	自分に合ったダイエット方法	ダイエットプランを作成し発表する/食事ノートの作成
12	流行ダイエット	現在の流行のダイエットを研究する
13	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
14	相手に合ったダイエット方法を提案し カウンセリングする	ダイエットプランを立て提案する
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅡ-F	
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅡ-H	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	30
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓杖・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋	出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・応用技術を身につける			
到達目標	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け2級(6月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。			
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%			
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者			
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、 一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格			
関連科目				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。			
担当教員		実務経験		
実務内容				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	振袖の着せ方1	授業の流れ、到達目標についての説明、審査票の記入、補整、長襦袢の着せ方、振袖の着せ方、たたみ方について学び実践する
2	振袖の着せ方2	長襦袢の着せ方、振袖の着せ方を学び実践する
3	振袖の着せ方3	袋帯について、ふくら雀の結び方について学び実践する
4	振袖の着せ方4	ふくら雀の結び方について学び実践する
5	振袖の着せ方5	振袖着付を仕上げる(検定対策)
6	振袖の着せ方6	振袖着付を仕上げる(検定対策)
7	振袖の着せ方7	振袖着付を仕上げる(検定対策)
8	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
9	検定試験	きもの着付2級検定試験を実施する
10	座学	着物のTPO(プリント③④)を学ぶ
11	浴衣の着方	浴衣の着方(自装)と半幅帯バリエーションを学び実践する
12	留袖の着せ方1	留袖の着せ方を学び実践する
13	留袖の着せ方2	留袖の着せ方、二重太鼓の結び方を学び実践する
14	留袖の着せ方3	留袖の着せ方、二重太鼓を仕上げる
15	総合学習	留袖の着せ方(仕上げ)と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅢ-F	
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅢ-H	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	30
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付けに関する知識・応用技術を身につける		
到達目標	着付けに関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け2級(6月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。		
評価基準	検定試験:40% テスト:30% 授業態度:30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	一般社団法人日本きもの文化連絡協議会もしくは、一般財団法人京都きもの伝承文化協会の きもの着付け資格		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自装(名古屋帯)1	小紋の着方(準備・支度・コーディネート)を学び実践する
2	自装(名古屋帯)2	小紋の着方を学び実践する
3	自装(名古屋帯)3	小紋の着方を学び実践する
4	自装(名古屋帯)4	お太鼓結びを学び実践する
5	自装(名古屋帯)5	お太鼓結びを学び実践する
6	自装(名古屋帯)6	小紋にお太鼓結びを仕上げる
7	自装(名古屋帯)7	小紋にお太鼓結びを仕上げる
8	実技テスト	自装の確認テスト
9	自装(袋帯)1	二重太鼓の結び方を学び実践する
10	自装(袋帯)2	訪問着に二重太鼓を仕上げる
11	紋服	紋服について、紋服・袴の着せ方・たため方を学び実践する
12	女袴	女袴について、女袴の着せ方・たため方を学び実践する
13	花嫁着装体験	花嫁着装体験
14	卒業制作	卒業制作の準備・練習
15	総合学習	総まとめとして、卒業制作を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ウォーキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ウォーキングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルとしての意識を持ち、今の自分(体型や個性)を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。				
到達目標	ウォーキングの基礎からポージング、リズムング、フォーメーションなどファッションショーの基本を学び、表現力を身につける。				
評価基準	テスト:70% 小テスト:15% 授業態度:15%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウォーキング総復習	1年次の復習、キャットウォーキング
2	ハイヒールウォーキング①	基礎、ターンのバリエーション
3	ハイヒールウォーキング②	ターンの応用、ウォーキング技術アップ
4	ハイヒールウォーキング③	基本の一往復
5	小テスト	前期中間テスト
6	ブライダルウォーキング①	ドレスウォーキング基本
7	ブライダルウォーキング②	ドレスステージウォーキング
8	ストールの使い方①	ストールの使い方基本、応用
9	ブライダルウォーキング③	ドレスを着用してのウィーキング①
10	ブライダルウォーキング④	ドレスを着用してのウィーキング②
11	ショーの基本①	ショーの基本と表現
12	ショーの基本②	ショーの基本と応用
13	テスト課題授業	テスト課題授業
14	テスト	前期末テスト
15	総合学習	前期総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ウォーキングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ウォーキングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデルとしての意識を持ち、今の自分(体型や個性)を自覚し、美しいウォーキングの技術を学びながら、クラスのレベルを上げる。				
到達目標	ウォーキングの基礎からポージング、リズムング、フォーメーションなどファッションショーの基本を学び、表現力を身につける。				
評価基準	テスト:70% 小テスト:15% 授業態度:15%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ウォーキング総復習	前期の復習
2	ファッションショー構成①	ステージウォーキング基本
3	ファッションショー構成②	フォーメーション①
4	ファッションショー構成③	ポージング応用
5	ファッションショー構成④	フォーメーション②
6	小テスト	後期中間テスト
7	オーディション対策①	オーディション対策基礎編
8	オーディション対策②	オーディション対策応用編
9	ジャケットの使い方①	ジャケットの扱い方の基本
10	ジャケットの使い方②	ジャケットを使用したウォーキング①
11	ジャケットの使い方③	ジャケットを使用したウォーキング②
12	ショーの応用	ファッションショー構成とジャケットの使い方
13	後期復習	テスト課題授業
15	テスト	後期末テスト
15	総合学習	年間総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ポーズングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ポーズングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色々なシチュエーションを想定してポーズ表現していく。				
到達目標	プロモデルとして通用するよう技術を身に付ける。事務所所属をし積極的に活動する。				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次の復習①	基本ポーズング復習(1年次に学んだことをグループ分けて教え合う)
2	ポーズングアレンジ	基本立ちポーズングでレパトリーついて
3	ポーズングアレンジ	床に座ってのポーズング・靴脱いでも可能・下着注意
4	ポーズング	座ってでのポーズング
5	ポーズング	複数でのポーズングについて
6	ポーズング	物をつかてでのポーズング
7	ポーズング	上着を着た状態でのポーズング
8	ポーズング	物をつかてでのポーズング
9	小テスト	小テスト(基本・バック・着物・小物)
10	Show時のポーズング (TOP・途中)	レパトリー・カウント・服の見せ方・目配り
11	Show時のポーズング (出ハケ・バッグ有り)	カウント・ターン・ため
12	Show時のポーズング (出ハケ・バッグ有り)	バック使用してのウォーキング～ポーズング
13	テスト課題発表	ウォーキング～ポーズングのやり方・魅せ方
14	前期テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボージングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボージングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次で学んだ知識を実際に身体を使い色々なシチュエーションを想定してポーズ表現していく。				
到達目標	プロモデルとして通用するよう技術を身に付ける。事務所所属をし積極的に活動する。				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期刊った内容の復習
2	基本ボージング	ボージングのレハトリについて
3	基本ボージング	アクセサリ・ジュエリーの扱い方・見せ方・指先の注意点
4	基本ボージング	靴、ヒールの見せ方について
5	フォーメーション(1人)	フォーメーションについて
6	フォーメーション(複数形)	フォーメーションについて
7	フォーメーション(生徒考案)	フォーメーションについて
8	巻物を使用したShow形式 ボージング	ストール・マフラーを使用したShowでの扱い方について
9	小テスト	小テスト(基本・バック・着物・小物)
10	モデルオーデション対策①	各箇所のボージング&ターンを決めてもらう
11	モデルオーデション対策②	指示したフォーメーションをウォーキング&ボージングしてもらう
12	モデルオーデション対策③	当日の衣装(短パン&白T)を着用し最終チェック グループ分け発表内容考案
13	フォーメーション・テスト課題発表	グループごとに発表/テストの課題・評価項目発表
15	テスト	テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボイストレーニングⅡ			
必修選択	選択	(学則表記)	ボイストレーニングⅡ			
開講						
年次	2年	学科	トータルビューティー科	単位数	1	
時間数	30					
使用教材	なし			出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付ける。					
到達目標	専門知識、用語まで理解をさせ印象の良い話し方を習得する。					
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%					
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者					
関連資格						
関連科目						
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。					
担当教員				実務経験		
実務内容						

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	原稿を読む1	多種多様な原稿を読んでみる
2	原稿を読む2	雰囲気を変えて読んでみる・バリエーションを作る
3	フリートーク1	フリートークを作るポイント・言葉を並べる順番
4	フリートーク2	番組、放送を想定したトーク、興味を引く話にする為のコツ
5	ラジオ1	キューシートの作成方法
6	ラジオ2	キューシートを基に話す
7	カメラを意識した話し方1	カメラを意識して原稿を読む
8	カメラを意識した話し方2	カメラを意識してフリートークをする
9	カメラを意識した話し方 小テスト	動画を録画しながらテーマについて話す
10	グループの中で話す1	空気を読む、トークの流れを読む、会話に入り込む
11	配信・SNS1	デジタル外音について
12	配信・SNS2	芸能人とYou Tube・ライバーの違い
13	配信・SNS3	興味をもってもらい、注目されるトーク力
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボイストレーニングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボイストレーニングⅢ		
		開講	単位数	時間数	
年次	2年	学科	1	30	
		トータルビューティー科			
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	話し方が与える第一印象の重要性を理解し、印象良く話す為に基礎知識を身に付ける。				
到達目標	専門知識、用語まで理解をさせ印象の良い話し方を習得する。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	タイムを取る	タイム設定があるときの取り方について
2	スポンサーを意識した話し方	スポンサーが求める能力について
3	メディアで使う言葉	放送禁止用語・流行語・地上波・衛星放送・ラジオ・配信・SNS
4	カメラを意識した話し方3	動画を録画する・配信・SNSライブを意識したトーク
5	歌1	歌唱力をあげる
6	歌2	歌唱力をあげる
7	歌3 小テスト	歌・発表
8	オーディションにむけて1	オーディション対策
9	オーディションにむけて2	オーディション対策
10	モデルオーディション振り返り	他人の評価について知る
11	グループの中で話す2	トークの中心になるためのポイント
12	食レポ1	食レポで使う言葉・実践1
13	食レポ2	食レポで使う言葉・実践2
15	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	演技Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	演技Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	脚本(現場)において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。				
到達目標	己を知り、自己解放から役を作り、役に応じた声や話し方、動作(仕草)で感情を伝える。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	演技について、基本的な学習の説明
2	演技基礎Ⅱ①	発声・滑舌Ⅱ「外郎売」
3	演技基礎Ⅱ②	「外郎売」から
4	演技基礎Ⅱ③	「外郎売」から
5	演技基礎Ⅱ④	「外郎売」から
6	演技基礎Ⅱ⑤	「外郎売」から
7	演技基礎Ⅱ⑥	「外郎売」から
8	演技基礎Ⅱ⑦	落語「貧乏神」から
9	演技基礎Ⅱ⑧	落語「貧乏神」から
10	演技基礎Ⅱ⑨	落語「貧乏神」から
11	演技基礎Ⅱ⑩	落語「貧乏神」から
12	演技基礎Ⅱ⑪	落語「貧乏神」から
13	演技基礎Ⅱ⑫	落語「貧乏神」から
14	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	演技Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	演技Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	脚本(現場)において自分やまわりの状況を把握し、役作りをして役の感情に伝えられるようにする。				
到達目標	己を知り、自己解放から役を作り、役に応じた声や話し方、動作(仕草)で感情を伝える。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
2	演技実践	舞台台本を基に役柄、状況設定の認識
3	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
4	演技実践	「さとうきび畑の唄」のメイン二人の芝居で複雑な女性心理を演ずる
5	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
6	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
7	演技実践	アンサンブルを含め全員での芝居作り
8	自然な演技力	その時代背景をしっかりと理解し、一演目を子供役、教頭役を含め全員での芝居作りをする。
9	自然な演技力	
10	自然な演技力	
11	自然な演技力	
12	自然な演技力	
13	試験題材	テスト題材の発表、練習
15	テスト	テスト
15	総合学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養管理Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養管理Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる。				
到達目標	健康的で美しい体を作るための知識を身に付け実践する				
評価基準	テスト40%・小テスト30%・授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ダイエット検定2級(任意)				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	JOY	実務経験		○	
実務内容	モデルの経験を経て歌手デビュー。その後、Bikini・フィットネスアスリートに転身。全日本フィットネスビキニクラス別優勝3連覇、元日本代表。健康で美しい身体作りや体重コントロールをするための食事を実践、その経験と知識をもとに、食事指導やモデル作り基の礎を教授する。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	ダイエット検定の魅力と将来の必要性
2	ダイエットとは	ダイエットの本質について
3	現代ダイエットの基礎知識	メタボリックシンドロームについて
4	体脂肪の基礎	脂肪の特徴や働きについて
5	カロリーと栄養素とダイエット	栄養素の働きについて
6		カロリーを知り体重のコントロールができるようになる
7	代謝とリバウンドの基礎知識	代謝とリバウンドの知識について
8	インスリンとGI値	インスリンの働きとGI値の関係性
9	運動とダイエット方法論	運動によりカロリー消費について
10	模擬テスト	成績評価テスト
11	第1章ダイエットと栄養素	栄養素とその働きを学び健康的に体重コントロールができる
12		
13	第2章 サプリメントとダイエット	サプリメントの役割や働きを学ぶ
14	第3章 体脂肪と肥満と疾病のリスク	脂肪の役割やリスクについて学ぶ
15	第4章 GI値と内分泌系の基礎	GI値の食事選びとホルモンと体重コントロールの関係を学ぶ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	栄養管理Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	栄養管理Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	栄養学の基礎知識を理解し、健康と栄養・サプリメント・食品添加物についてアドバイスができる。				
到達目標	健康的で美しい体を作るための知識を身に付け実践する				
評価基準	テスト40%・小テスト30%・授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	ダイエット検定2級(任意)				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第5章 神経と食欲とダイエット	ダイエットと自立神経～食欲との付き合い方
2	第6章 運動と筋肉と代謝	運動効果の基本～誰でもできるウォーキング
3		筋力トレーニングと基礎代謝の増加～DTIエネルギー消費量比較
4	模擬試験	成績評価
5	総合まとめ	検定2級、1級の振り返り
6	総合まとめと実践	水ぶとりに関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
7	総合まとめと実践	油に関する栄養素と内容のグループディスカッションと発表
8	総合まとめと実践	三大栄養素と基礎食品群の内容のグループディスカッションと発表
9	総合まとめと実践	栄養バランスとカロリーに関する内容のグループディスカッションと発表
10	総合まとめと実践	代謝に関する栄養と運動のグループディスカッションと発表
11	総合まとめと実践	GI値とインスリンに関するグループディスカッションと発表
12	総合まとめと実践	カロリー計算と栄養素のグループディスカッションと発表
13	総合まとめと実践	低GI値とカロリーに関するグループディスカッションと発表
15	総合まとめと実践	神経とダイエットに関するグループディスカッションと発表
15	総合的学習	振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターナショナルコミュニケーションⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターナショナルコミュニケーションⅠ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようになる				
到達目標	英語を使つてのオーディションを行い、自己紹介や自己アピールを行えるようになる。また、英語を使つての簡単な会話ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介、導入	授業ルール、意味合い、達成目標などを共有する
2	簡単な英語レベルチェック	自己紹介、その他自己のレベルを感じさせる&通じるか通じないかの確認
3	会話力(初級)	A-Zまでの発音、筆記確認
4	会話力(初級)	数字等必要単語の確認①
5	会話力(初級)	数字等必要単語の確認②
6	会話力(初級)	数字等必要単語の確認③
7	会話力(初級)	文章作成基本①
8	会話力(初級)	文章作成基本②
9	会話力(初級)	文章作成基本②
10	会話力(初級)	本物の会話に使われる単語、時代に合わせた単語を学ぶ①
11	会話力(初級)	本物の会話に使われる単語、時代に合わせた単語を学ぶ②
12	会話力(初級)	本物の会話に使われる単語、時代に合わせた単語を学ぶ③
13	テスト対策	会話制作&文章発音確認
14	テスト	テスト
15	総合学習	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	インターナショナルコミュニケーションⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターナショナルコミュニケーションⅡ		
開講		単位数	時間数		
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	15
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	コレクションや海外でのオーディションや仕事をしていく中で自らの表現やコミュニケーションをとれるようにする				
到達目標	英語を使ってのオーディションを行い、自己紹介や自己アピールを行えるようになる。また、英語を使っての簡単な会話ができるようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	会話力(中級)	夏休み宿題発表&後期からのルール説明
2	会話力(中級)	6W1Hの把握
3	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習①
4	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習②
5	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習③
6	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習④
7	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習⑤
8	会話力(中級)	6W1H/使い方実践&発音練習⑥
9	コミュニケーションカ	実践英会話オーディション対策①
10	コミュニケーションカ	実践英会話オーディション対策②
11	コミュニケーションカ	実践英会話オーディション対策③
12	コミュニケーションカ	最終コミュニケーション英会話総合復習
13	テスト対策	テスト対策を行う
14	テスト	テスト
15	総合学習	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディエクササイズⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディエクササイズⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヨガマット、ソフトボール、テニスボール		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り				
到達目標	授業を通じそれぞれが目標とする身体作りの達成				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
2	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
3	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
4	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
5	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
6	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
7	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
8	計測 (小テスト)	コンビネーションエクササイズ全身 小テスト
9	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
10	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
11	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
12	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
13	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
14	目標達成確認 (テスト)	1、計測(after写真撮影)2、コンビネーションエクササイズ 全身
15	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタビリティ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ボディエクササイズⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	ボディエクササイズⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	ヨガマット、ソフトボール、テニスボール		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エクササイズの復習、応用、健康な食事の摂り方の習慣付けと美しいメリハリのある身体作り				
到達目標	授業を通じそれぞれが目標とする身体作りの達成				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業態度:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	現状を知る / 目標の再設定	before写真、計測、目標設定 コンビネーションエクササイズ全身
2	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
3	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
4	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
5	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
6	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
7	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
8	計測 (小テスト)	1、計測(after写真撮影)2、コンビネーションエクササイズ 全身
9	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
10	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
11	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
12	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
13	筋力アップ / 脂肪燃焼	コンビネーションエクササイズ全身
14	目標達成確認 (テスト)	1、計測(after写真撮影)2、コンビネーションエクササイズ
15	総合学習	1、総まとめを行う 2、ドラウタピリティ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダンスⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダンスⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポーズや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をする。 自分らしく表現・ポーズが出来るようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入	授業を行うにあたり、決まりやルールの確認を行う。また自己紹介などを行う
2	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
3	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
4	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
5	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
6	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養う
7	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
8	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
9	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
10	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
11	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
12	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
13	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
14	テスト	テスト
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ダンスⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ダンスⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、自分らしいポージングや服の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	目指すモデル像やタレント像の設定をする。 自分らしく表現・ポージングが出来るようになる。				
評価基準	テスト40%、小テスト30%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
2	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
3	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
4	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
5	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
6	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
7	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
8	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
9	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
10	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
11	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
12	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
13	ストレッチ、リズムトレーニング、筋トレ、フロアストレッチ、振り付け	ストレッチやリズムトレーニング、振り付けを行い、リズム感を養い振り付けを行い体で表現をする
14	テスト	テスト
15	総合学習	これまでの総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	セルフプロデュースⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	セルフプロデュースⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人一人の強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。				
到達目標	自分自身を客観的に理解し、自分軸をしっかりと創り上げる。				
評価基準	テスト40%、授業態度30%、小テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己確認ゲーム	ゲームを通して、自分自身の印象を客観的に知る
2	確認&面談①	未来の自分へ&面談①
3	自分を客観視&面談②	"商品"としての自分を知る&面談②
4	PR法(ハーバード大学Method)Ⅰ	PR法について①
5	PR法(ハーバード大学Method)Ⅱ	PR法について②
6	PR法(ハーバード大学Method)Ⅲ	PR法について③
7	本来の自分を知る①	自分史より今の自分について客観的に分析
8	本来の自分を知る②	掘り下げた自分について
9	本来の自分を知る③	自分の"軸"について
10	Non-verbal communication①	ノンバーバルコミュニケーションの使い方①
11	Non-verbal communication②	ノンバーバルコミュニケーションの使い方②
12	Non-verbal communication③	ノンバーバルコミュニケーションの使い方③
13	自己コントロール	自己、他者コントロール実践練習
14	テスト	テスト
15	総合学習	夏休みに向けての目標/Keep their mindについて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	セルフプロデュースⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	セルフプロデュースⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	30
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	芸能の世界での理想と現実の違い。それらを認識させる為に、根本的な一人ひとりの強みと弱みを浮き彫りにして作業を中心に展開する授業。				
到達目標	自分自身を客観的に理解し、自分軸をしっかりと創り上げる。				
評価基準	テスト40%、授業態度30%、小テスト30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夏休み宿題発表	目標について
2	目的を達成する方法③	夏休みの目的達成が出来なかった理由を具体的に細かくマイクログラフで見ていく
3	目的を達成する方法④	具体的な今の問題を解決していく方法を全員で考えていく
4	緊張対策	人前で緊張をなぜするのか、そしてそれはどのように回避できるのかを学ぶ
5	Audition対策序章	Auditionに向かい自分ほどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
6	Audition対策①	Audition対策について
7	Audition対策②	Audition対策について
8	Audition対策③	Audition対策について
9	Audition対策④	Audition対策について
10	Audition対策/反省会	Audition終了後、みんなで何を感じたか何を得られたか反省会
11	自分の価値観を知る①	自分の価値観について
12	自分の価値観を知る②	自分の価値観について
13	自分の価値観を知る③	自分の価値観について
14	テスト	テスト
15	総合授業	これからの人生へ向けて

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルコーディネートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルコーディネートⅡ		
		開講		単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティ科	2	30
使用教材	カラーチャート		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・プロポーション、国際基準骨格診断を生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせ戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。				
到達目標	様々なオーディションにて、確実に結果を手に入れられるよう外見を整えていく。				
評価基準	提出物30%、テスト40%、授業態度30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員			実務経験		
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	外見の序章	外見を創る3つの柱について&パーソナルカラー復習
2	パーソナルフェイスシェイプ①	パーソナルフェイスシェイプにまつわるすべてを科学的理論学習&実践
3	パーソナルフェイスシェイプ②	
4	パーソナルフェイスシェイプ③	
5	パーソナルプロポーション①	
6	パーソナルプロポーション②	自分のプロポーションを知り、自分自身を美しく魅せる科学的理論学習&実践
7	パーソナルフェイス&プロポーション復習&実践	パーソナルフェイス&プロポーション復習&実践
8	ファッションスタイル①	国際基準7ファッションスタイルを説明
9	ファッションスタイル②	国際基準7ファッションスタイルの自己診断&結果
10	ファッションスタイル③	国際基準7ファッションスタイルの詳細①
11	ファッションスタイル④	国際基準7ファッションスタイルの詳細②
12	ファッションスタイル⑤	国際基準7ファッションスタイルの詳細③
13	総合復習	自分軸=ファッションスタイルが分かった後のコーディネート法
14	テスト	今まで学んできたカラーやフェイスシェイプ、プロポーション、ファッションスタイルなどを理解できているか確認
15	総合学習	総まとめを行う/夏休み宿題

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	パーソナルコーディネートⅢ	
必修選択	選択	(学則表記)	パーソナルコーディネートⅢ	
開講			単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2 30
使用教材	カラーチャート	出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	外見を創り上げる基本要素すべてを網羅する授業。フェイスシェイプ・ボディプロポーション、国際基準骨格診断を生かしていく技術を個人レベルに落とし込んで学んでいく。TPOに合わせて戦略的に外見を味方につけられるよう演出能力を創り上げる。		
到達目標	様々なオーディションにて、確実に結果を手に入れられるよう外見を整えていく。		
評価基準	提出物30%、テスト40%、授業態度30%		
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夏休み宿題発表	実際にやってきた宿題をシェア&ディスカッション
2	ファッションスタイルアドバンス①	学校にあるアイテムを使いつつスタイリスト&モデルに分けて実践
3	TPOによる変化	TPOに合わせて自分をコーディネートする
4	Audition対策序章	Auditionに向かい自分ほどの業界を目指すか、何を目的に頑張るかをクリアにする
5	Audition対策①	Audition対策①
6	Audition対策②	Audition対策②
7	Audition対策③	Audition対策③
8	Audition対策④	Audition対策④
9	交換会①	3つのバйлについて
10	交換会②	3つのバйлについて
11	交換会③	3つのバйлについて
12	コーディネート発表①	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
13	コーディネート発表②	コーディネートアイテムとして使いTPOに合わせて
14	テスト	総合確認テスト
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	自分の個性を認識し、テーマに合ったポーズング、服や髪の見せ方、表情や表現力の幅を広げる。				
到達目標	さまざまなテーマを的確に捉えて表現できる自信とプロ意識の習得。				
評価基準	提出物20%、実技テスト30%、テーマ別表現技術30%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自己紹介とオリエンテーション	各自の自己紹介と授業ルールの共有
2	カウンセリングと目標設定	前週のアンケートをもとにカウンセリング ・ 前期の目標設定とゴール
3	スタジオ撮影	セルフイー撮影 リモコンで自分のタイミングで撮影してみる。
4	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
5	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPC、プリンターの使い方を学ぶ。
6	スタジオ撮影	テーマ“真っ直ぐ” 水平や垂直を意識させ撮影をする。
7	スタジオ撮影	テーマ“クール”
8	スタジオ撮影	テーマ“ナチュラル”
9	スタジオ撮影	テーマ“ポップ”
10	スタジオ撮影 宣材写真	宣材写真(全身・バスタアップ)の撮影
11	スタジオ撮影	テーマ“ポーズをとらない”
12	スタジオ撮影	グループや ペアでの撮影をする。
13	スタジオ撮影	プロジェクターによるアート背景を使って撮影する。
14	実技試験 スタジオ撮影	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと前期振り返りディスカッションとカウンセリング

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	撮影Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	撮影Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	なし		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	光、風景、背景を含めた写真的環境とストーリーを感じる感性や即興性の訓練と総合学習。				
到達目標	直感や感性、人間力を磨くことで、カメラマンとの対話能力を向上させる。				
評価基準	提出物20%、実技テスト30%、テーマ別表現技術30%、授業態度20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	後期オリエンテーション	後期の目標設定とバスタップコンボジット撮影練習
2	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
3	スタジオ撮影	テーマ"キュート"
4	スタジオ撮影	テーマ"秋"
5	スタジオ撮影	カラーフィルターを使って色彩表現をテーマに撮影
6	スタジオ撮影	テーマ"〇〇年代ファッションまたはコスプレ"
7	写真を選ぶ、プリントする	写真の選び方、ブック製作のためのPQ、プリンターの使い方を学ぶ。
8	ロケ撮影	スタジオ以外の屋内や屋外で撮影
9	スタジオ撮影	テーマ"マニッシュ(男性的)"
10	スタジオ撮影	テーマ"フェミニン(女性的)"
11	スタジオ撮影	テーマ"ビューティ" メイク映えを意識したバスタップの撮影をする。
12	スタジオ撮影	テーマ"広告写真" シュミレート商品とモデルを撮影をする。
13	校内ロケ撮影	テーマ"アーティスト写真"
14	実技試験 スタジオ撮影	撮影試験
15	総合学習	試験振り返りと後期振り返りディスカッションとカウンセリング

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	メンタリティーメイキングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	メンタリティーメイキングⅡ		
開講			単位数	時間数	
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法		出版社	We Net ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデル(芸能界にむけて)のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す。				
到達目標	ONLY ONEの素質を自らがつかみ あらゆるピーアールテクニックを身につける。				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業意欲:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員		実務経験			
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
2	自分プロデュース ①	一年復習と今後のディレクション
3	カメラ・アイ	カメラ・アイについて
4	自分(心)と対話	マインドコントロールについて
5	自分プロデュース ②	自分の将来について
6	自分プロデュース ②	メンタルと外見の関係性とメンタルトレーニング実践
7	ギャップ	ギャップについて
8	ギャップ攻略法とコンプレックス	ギャップ攻略法実践
9	アサーション①	意識改革&美意識トレーニング実践
10	アサーション②	ネガティブシンキング&ポジティブシンキングを考える
11	アサーション③	柔軟な耳と脳内改革で内面、外面を美表現できる
12	自分プロデュース ③	これまでの知識を振り返り自己PRレベルアップ
13	テスト:合同オーディション	合同模擬オーディション実施
14	テスト振り返り	オーディション結果を振り返り、個々実力の再確認と具体的な改善点を認知する
15	総合学習	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	メンタリティーメイキングⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	メンタリティーメイキングⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	自分を大きく見せる話し方 コミュニケーション技法		出版社	We Net ウイネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	モデル(芸能界にむけて)のメンタルの確立とトータルピーアールのプロを目指す。				
到達目標	ONLY ONEの素質を自らがつかみ あらゆるピーアールテクニックを身につける。				
評価基準	テスト:40% 小テスト:30% 授業意欲:30%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	前期の復習	前期の振り返り
2	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
3	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
4	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
5	自己アプローチ強化とプレゼンテーション	オーディション形式にて自己アプローチと自己表現の徹底
6	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
7	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
8	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
9	自己アプローチと自己表現	自己アプローチと自己表現の個別レベルアップ指導、特技トレーニング
10	(合同)模擬オーディション①	モデルオーディションに向けてトレーニング
11	振り返り	方向性と課題を決定
12	(合同)模擬オーディション②	モデルオーディションに向けて最終チェック
13	振り返り最終チェック	モデルオーディションに向けて総仕上げ
14	テスト	テスト
15	総合学習	これまでの総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅡ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅡ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実質時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 百華	実務経験			
実務内容					

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	インターンシップⅢ－Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	インターンシップⅢ－Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	1	45
使用教材	インターンシップ手帳		出版社	なし	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容に携わるお仕事スタッフとして必要とされる社会人基礎力を身に付ける。				
到達目標	・社会人として必要な基礎スキルが身に付いている。 ・相手の立場に立った物事の考え方ができる。 ・社会へ出てから必要な言葉遣いや接客マナーを実践できる。				
評価基準	①企業側評価75%(評価表にて採点) ②学校側評価25%(レポート提出にて採点)				
認定条件	・実習時間数が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	佐藤 百華	実務経験			
実務内容					